

企 画 提 案 指 示 書

1 委託業務内容

- (1) 有識者会議の運営
- (2) 木造建築に係る研修会の開催
- (3) 木造建築及び木質バイオマスに係る相談窓口の設置
- (4) 「HOKKAIDO WOOD BUILDING」表彰の運営
- (5) 冊子「HOKKAIDO WOOD BUILDING」事例集の作成
- (6) 「HOKKAIDO WOOD HOUSE」制度等の普及PR
- (7) 「HOKKAIDO WOOD HOUSE」表彰の運営
- (8) 成果品の提出
- (9) その他、(1) から (7) までの実施に必要な一切の業務

2 仕様

【項 目】

有識者会議の運営、木造建築に係る研修会の開催、木造建築及び木質バイオマスに係る相談窓口の設置、「HOKKAIDO WOOD BUILDING」表彰の運営、冊子「HOKKAIDO WOOD BUILDING」事例集の作成、「HOKKAIDO WOOD HOUSE」制度等の普及PR、「HOKKAIDO WOOD HOUSE」表彰の運営を行い、実施結果を取りまとめ成果品として提出する。

(1) 有識者会議の運営

建築物での道産木材利用促進の取組を推進するため、受託者は有識者会議の事務局として、事前の日程調整、連絡調整、会場の確保、会議資料の作成、司会進行、議事録及び議事概要の作成等を担当し、木造建築に係る新技術や道産建築材の普及に関する情報共有や意見交換を行う有識者会議を、3回を目安に開催する。

(2) 木造建築に係る研修会の開催

非住宅建築物の建築を促進するため、木造公共建築導入手法研修会を札幌市又は札幌市近郊の都市部での開催を基本とし原則2回以上、木造建築物の設計・施工技術研修会を札幌市又は札幌近郊の都市部での開催を基本とし原則1回以上開催する。

(3) 木造建築及び木質バイオマスに係る相談窓口の設置

市町村等において道産木材や木質バイオマスの更なる利活用が進むよう相談窓口を設置し、道内で木造の非住宅・中高層建築物を整備しようとする者、道内で木質バイオマスを利活用しようとする者からの相談があった際には、対応するアドバイザーの選定・調整を行う。

(4) 「HOKKAIDO WOOD BUILDING」表彰の運営

推奨基準を満たした「HOKKAIDO WOOD BUILDING」の中から、特にモデル性が高く、建築物の木造化・木質化を推進する上でPR効果が高いものについて、「HOKKAIDO WOOD BUILDING 表彰要領」に基づき表彰を行うため、表彰候補者資料の作成、選考委員会の構成等の候補者選考業務及び表彰業務、表彰結果PR業務を実施する。

(5) 冊子「HOKKAIDO WOOD BUILDING」事例集の作成

都市の木造化の促進に向け、企業や市町村、道民に対し建築物の木造化・木質化の意義や良さ、メリットなどを普及するとともに、建築関係者に対し木造化・木質化に対する意識醸成、知識や技術習得の機会を創出するため、HWB 登録建築物の事例を元に建築物での木材利用の意義などを紹介する冊子を作成し、完成品の発送、納品を行う。

(6) 「HOKKAIDO WOOD HOUSE」制度等の普及PR

住宅における道産木材の利用を促進するため、道産木材を使った住宅を認定する「HOKKAIDO WOOD HOUSE (以下HWH という)」制度の周知PR 及びHWH 認定数の増加に向けて「HOKKAIDO WOOD HOUSE」認定キャンペーンを実施するとともに、新築等の住宅における道産木材利用を支援する「HOKKAIDO WOOD HOUSE 建築促進事業」のPR に向けた広告を実施する。

(7) 「HOKKAIDO WOOD HOUSE」表彰の運営

推奨基準を満たした「HOKKAIDO WOOD HOUSE」の中から、特にモデル性が高く、新築棟の住宅における道産木材の利用を推進する上でPR効果が高いものについて、「(仮称) HOKKAIDO WOOD HOUSE 表彰要領」に基づき表彰を実施する。

(8) 成果品の提出

上記(1)から(6)の実施結果等について、報告書を作成し、紙媒体(A4版)1部、電子媒体(CD-R又はDVD-R)1部を令和9年(2027年)3月16日(火)までに提出すること。

なお、本事業における報告書(いずれもデータ含む)の所有権及び著作権は道に帰属する。

(9) その他

委託業務の遂行に当たってはリモートでの打合せなど、ICTやIoT技術の積極的な活用に努めること。

3 企画提案に係る提出書類

企画提案書は、次の内容で、A4で作成すること。記載内容の詳細は企画提案書様式を参照のこと。

(1) 業務執行体制、業務執行能力等

- ア 企画提案者の概要
- イ 総括責任者及び担当者
- ウ 業務全体の実施体制・役割等
- エ 業務スケジュール
- オ 同様の業務実績

(2) 企画提案の内容

- ア 有識者会議の運営に係る実施体制及び企画提案
- イ 木造建築に係る研修会の開催に係る実施体制及び企画提案
- ウ 木造建築及び木質バイオマスに係る相談窓口の設置に係る実施体制及び企画提案
- エ 「HOKKAIDO WOOD BUILDING」表彰の運営に係る実施体制及び企画提案
- オ 冊子「HOKKAIDO WOOD BUILDING」事例集の作成に係る実施体制及び企画提案
- カ 「HOKKAIDO WOOD HOUSE」制度等の普及PRに係る実施体制及び企画提案
- キ 「HOKKAIDO WOOD HOUSE」表彰の運営に係る実施体制及び企画提案

4 提出方法

(1) 社名

プレゼンテーションでは社名を伏せて行うことから、企画提案書提出要請時に記号を通知するので、企画提案書の中の社名はすべてこの記号を使用すること。

また、企画提案書の作成にあたって、ロゴマーク等、提案者が特定できる図柄は一切使用しないこと。

(2) 提出部数 10部

(3) 提出方法 持参又は郵送(簡易書留、書留のいずれか)

(4) 提出期限 令和8年(2026年)6月3日(水) 午後5時(必着)

(5) 提出場所 北海道総務部イノベーション推進局契約マネジメントセンター

5 プレゼンテーションの実施場所及び日時

提出された企画提案書についてプレゼンテーションを次の場所及び日程で実施する。日時の詳細等は後日通知する。

なお、プレゼンテーションに出席しない場合は、企画提案の参加意思がないものとみなす。

(1) 実施場所 北海道庁本庁舎10階 水産林務部1号会議室(札幌市中央区北3条西6丁目)

(2) 実施日時 令和8年(2026年)6月11日(木) 午前

6 その他

(1) 複数の企画提案は認めない。

(2) 企画提案が多数の場合は、書面による予備審査を行うことがある。